

## 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品等の名称:	ダンパック C-15
会社名:	王子製袋株式会社
住所:	東京都江戸川区東篠崎2丁目3番2号
担当部門:	ダンパック販売部
電話番号:	03-5636-5611
FAX番号:	03-5636-5615
緊急連絡先:	ダンパック販売部
緊急連絡電話番号:	03-5636-5611
緊急連絡FAX番号:	03-5636-5615
推奨用途及び使用上の制限:	当該製品は工業用途での使用に限る。

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 物理化学的危険性

## 健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2
生殖毒性	区分1B
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(消化管、中枢神経系) 区分3(気道刺激性)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器)

## 環境に対する有害性

上記で記載のない危険有害性は、分類できないまたは区分に該当しない

(製品の物理化学的危険性はデータ無しで分類できないが、原料の新聞古紙は可燃性である。)

原料の新聞古紙由来の粉じんは、静電気などで火災や粉じん爆発を起こす危険性がある。)

なお、「粉体の爆発性の有無及び爆発下限濃度(吹上げ式)」に関する危険性評価試験結果では、爆発性は低い評価であった。

## ラベル要素

## 絵表示



## 注意喚起語:

危険

## 危険有害性情報:

皮膚刺激

強い眼刺激

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

臓器(消化管、中枢神経系)の障害

(気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたるまたは反復ばく露による臓器(呼吸器)の障害

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

粉じん、ミスト、スプレーを吸入しないこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

【応急措置】

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。取り扱った後、手を洗うこと。

吸入した場合は空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管(貯蔵)】

施錠して保管すること。

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

【廃棄】

内容物や梱包材(容器)を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国内法は『15. 適用法令』を参照のこと。

国・地域情報

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物

成分及び含有量:

成分	含有量(%)	化審法官報公示整理番号	CAS 番号
セルロース繊維集合体(新聞古紙)	81 程度	なし	9004-34-6
[この内カーボンブラック(C)1%程度 (カーボンブラックは新聞古紙由来の不純物で、Eコマーク認定の印刷インキに含まれる)]		元素であるため該当せず	1333-86-4]
ホウ酸(H <sub>3</sub> BO <sub>3</sub> )	9.5	(1)-63	10043-35-3
四ホウ酸ナトリウム・五水和物 (Na <sub>2</sub> B <sub>4</sub> O <sub>7</sub> ・5H <sub>2</sub> O)	8.5	(1)-69	12179-04-3
助剤	<1	あり	あり

4. 応急措置

吸入した場合:

新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

鼻をかみうがいさせること。

呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合:

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合には、医師の診察、手当てを受けること。

目に入った場合:

汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合には、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合:

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

応急措置をする者の保護:

情報なし

医師に対する特別注意事項:

情報なし

5. 火災時の措置

消火剤： 粉末、泡、二酸化炭素、水(噴霧)等  
 特有の消火方法： 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業には、可能な限り風上から行うこと。  
 消火を行う者の保護： 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。燃焼ガスには、一酸化炭素等の他、窒素酸化物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： 回収に当たっては、保護手袋、保護面、保護眼鏡を着用する。散乱による二次災害として、転倒などのきっかけになりうるので注意すること。  
 環境に対する注意事項： 外部への飛散・流出を防止し、河川等に排出しないよう注意する。  
 二次災害の防止策： 散乱物を收容する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
 局所排気・全体換気： 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気・全体換気を行う。  
 安全取扱い注意事項： 使用前に使用説明書を入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 難燃性であるが、火気のある場所では取扱わない。  
 原料の新聞古紙に由来する粉じんは、静電気や電気スパークなどで火災や粉じん爆発を起こすことがあるので、堆積しないよう清掃に心掛けること。(ただし、「粉体の爆発性の有無及び爆発下限濃度(吹上げ式)」に関する危険性評価試験結果では、爆発性は低い評価であった。)<sup>9)</sup>  
 周辺の設備には静電気を除去するための接地を行うこと。

保管

技術的対策： 包装材料を密閉して換気の良いところで保管する。  
 保管条件： 高温、高湿の場所での保管を避ける。  
 静電気災害を防止する対策をとること。  
 必要に応じて施錠し保管する。  
 密閉できる包装材料を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度： 設定されていない  
 許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)：  
 ACGIH(2021年版) TLV-TWA 2mg/m<sup>3</sup>(ホウ酸ナリウム)  
 日本産業衛生学会勧告値(2021年) 第3種粉じん 2mg/ m<sup>3</sup>[吸入性粉じん](有機粉じん)  
 8mg/ m<sup>3</sup>[総粉じん](有機粉じん)  
 設備対策： 局所排気装置を設ける。  
 保護具  
 呼吸器の保護具： 適切な呼吸器保護具を着用すること。  
 ばく露の可能性のある時は、送気マスク、空気呼吸器、または酸素呼吸器を着用すること。

手の保護具:	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具:	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具:	適切な保護衣、顔面用の保護具、保護靴等を着用すること。
衛生対策:	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	繊維状(綿状)
色:	灰色(グレー)
臭い:	ホウ酸臭
融点・凝固点:	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲:	データなし
可燃性:	難燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	データなし
引火点:	427°C
自然発火点:	データなし ; 291°C(新聞紙)
分解温度:	データなし
pH:	データなし
動粘性率:	データなし
溶解度:	セルロース、カーボンブラックは不溶(水)、ホウ酸・ホウ酸ナトリウムは可溶(水)
n-オクタノール/水分係数(log 値):	データなし
蒸気圧:	データなし
密度及び/又は相対密度:	25+2kg/m <sup>3</sup> (製品)
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	データなし

10. 安全性及び反応性

安定性:	通常の取扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性:	データなし
避けるべき条件:	情報なし
混触危険物質:	情報なし
危険有害な分解生成物:	燃焼の際は、一酸化炭素等の他、窒素酸化物系のガス等の有毒ガスが生成される。

11. 有害性情報

急性毒性	(製品データ) データなし (成分データ) 経口摂取すると有害である。 ホウ酸: 経口 ラット LD <sub>50</sub> 2,660~5,140mg/kg 四ホウ酸ナトリウム・五水和物: 経口 ラット LD <sub>50</sub> 3,200~3,400mg/kg (サブライヤーSDS)。
皮膚腐食性・刺激性:	(製品データ) データなし (成分データ) 皮膚を刺激する。皮膚の乾燥、発赤、痛みの症状を引き起こす (サブライヤーSDS)。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	(製品データ) データなし

生殖毒性:	(成分データ) 眼を刺激する。発赤、痛みの症状を引き起こす (サプライヤーSDS)。
発がん性:	(製品データ) データなし (成分データ) ヒトで生殖毒性を引き起こすことがある(サプライヤーSDS)。 (製品データ) データなし (成分データ) ヒトにおける発がん性が分類できていない物質(サプライヤーSDS)。 (参考データ)
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露):	カーボンブラックについては、IARC 分類 2B および日本産業衛生学会 第 2 群 B に分類されているが、製品中のカーボンブラックは印刷インキの成分 として原料の新聞古紙に含有している。印刷インキとしては、IARC 分類3 [ヒトに対する発がん性については分類できない]に指定されている。 (製品データ) データなし (成分データ) 眼、皮膚、気道を刺激する。消化管、腎臓、肝臓に影響を与えることがあ る(サプライヤーSDS)。
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露):	(製品データ) データなし (成分データ) ホウ酸: 反復または長期の皮膚への接触により、皮膚炎を引き起こす ことがある。動物試験ではヒトの生殖に毒性影響を及ぼす可能性が あることが示されている。 四ホウ酸ナトリウム・五水和物: 反復または長期のばく露により、鼻腔刺激 性、眼刺激性、咽頭への刺激性、咳、息切れをを引き起こす可能性が あることが示されている。 (サプライヤーSDS)。
12. 環境影響情報	データなし
13. 廃棄上の注意	『7. 取扱い及び保管上の注意取扱い』に記載の対策を行う。 指定可燃物「ぼろ及び紙くず」 1,000 kg 廃棄においては、関連法規(廃棄物の処理及び清掃に関する法律など) ならびに地方自治体の条例等に従うこと。廃棄物の処理を委託する場合、 内容物や梱包材(容器)を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄 物処理業者に業務委託すること。
14. 輸送上の注意 国際規制 国内規制 特定の安全対策	国連勧告の定義上危険物に該当しない。 該当しない。 運搬に際しては梱包材の破れが無いことを確かめ、梱包材に損傷が 無いように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。 高温並びに高湿を避ける。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法:	名称等を表示すべき危険物及び有害物(労働安全衛生法第57条、労働安全衛生法施行令第18条別表第9 平成30年7月1日施行)(政令番号第544号)[ホウ酸及びそのナトリウム塩](平成30年7月1日施行日より適用)
化学物質排出把握管理促進法:	名称等を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)(政令番号 第544号)[ホウ酸及びそのナトリウム塩](平成30年7月1日施行日より適用)、 (政令番号 第130号)[カーボンブラック] 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)(管理番号 405)[ほう素化合物]
水質汚濁防止法:	施行令第2条有害物質 24号[ほう素及びその化合物]
土壌汚染対策法:	施行令第1条特定有害物質 24号[ほう素及びその化合物]

## 16. その他の情報

## 引用文献

1. GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7252:2019(2019年5月25日改正)
2. GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)JIS Z 7253:2019(2019年5月25日改正)
3. GHS分類結果データベース (独)製品評価技術基盤機構ホームページ、(2021年2月)
4. 事業者向けGHS分類ガイダンス(令和元年度改訂版(Ver.2.0))経済産業省製造産業局化学物質管理課ホームページ(2021年2月)
5. 理科年表 2022年版:丸善
6. 「ホウ酸ナトリウム・10水和物」中央労働災害防止協会モデルSDS(2020年5月27日改訂版)
7. 「ホウ酸」及び「ホウ酸ナトリウム(ほう砂)」の製造元 SDS
8. 「カーボンブラック」中央労働災害防止協会モデルSDS(2016年3月31日改訂版)
9. (公)産業安全技術協会 「粉体の爆発性の有無及び爆発限界濃度(吹上げ式) 危険性評価試験結果書」(2021年2月)

## 記載内容の取り扱い

- ・本データシートは、一般的な工業的用途について、「製品の適切な取り扱い」を確保するための参考資料として情報提供するもので、保証するものではありません。また、日本国内法規を基準に作成したものです。
- ・全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、記載内容は現時点で信頼し得ると考えられる資料・情報・データに基づき作成しており、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。
- ・含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用願います。
- ・重要な決定等にご利用される場合には、出典等を良く検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。ご需要家各位は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じた適切なる措置をお取り下さるようお願い致します。